



春風通信

Haru kaze Communication



新たな時代を切り拓き、 備えも万全に!

新年あけましておめでとうございます。今年は、龍の如く天を駆け、新たな時代を切り拓く決意で一年を過ごしたいと決意しています。皆様にとって、今年が健康で、成功に満ち、幸せな一年となることを心から願っております。そして、能登半島地震や事故・火災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共にわが地域での防災・減災にも徹して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

物価高騰から暮らしを守る緊急要望!



11月22日に大西高松市長に対し「物価高騰対策と経済再生に向けた緊急要望」を行いました。

これは国が決定した総合経済対策を公明党の3000人のネットワークを生かして、現場に迅速に届けるために一丸となって取り組んだものです。これにより12月議会の会期中に追加の補正予算が諮られ、低所得世帯への給付や学校給食の3学期無償化、農畜水産事業者への支援金、公共交通運航支援、医療・福祉サービス事業者への支援を行う事が決定し、年終から3月末までにお届けできるようになりました。

選ばれるまち・高松にむけて!

昇り龍の如く飛躍の年を迎える高松市では、大きな出来事が目白押しです。3月16日には「瀬戸内海国立公園」が日本で最初の国立公園に指定され90年を迎えます。また、3月にはサンポート地区に新駅ビルが完成するなど、賑わい創出のチャンスを迎えます。また、4月からは「人がつどい未来に躍動する 世界都市・高松」を目指すべき都市像として掲げるこれからの8か年のまちづくりの指針となる「第7次高松市総合計画」がスタート



します。しっかりと議員として目を光らせ、更なる発展のための提案を重ねて参ります。

物価高騰からのご家庭支援策

住民税非課税世帯・生活支援給付金の受付開始

- 給付額 1世帯あたり7万円
- 申請期間 1月4日～2月29日(当日消印)
 - ①令和5年度支給された対象世帯は、世帯主宛てに令和6年1月3日以降順次、高松市から「支給のお知らせ」が届きます。手続きは不要で、支給のお知らせに記載の振込口座に、令和6年1月19日(金曜日)に給付金(7万円)を振り込みます。
 - ②①以外の対象者は、**確認書の返送が必要**。

コールセンター ☎826-0442

高松市独自の支援策

農畜水産業継続緊急支援金

飼・肥料などの物価高騰の影響により厳しい経営環境にある事業者を支援
*3万円～75万円(対象者の形態により)
*詳しくはホームページから⇒

奨学金返還支援 令和7年度から開始

補助額：最大60万円(年間20万円×3年間)
*令和6年5月から事前申込受付開始予定
対象者：県内出身で他県の大学等を卒業・
県外出身で県内大学等を卒業。
*詳しくはホームページから⇒

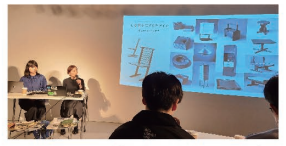
活動報告

9月23日 たかまつ讃岐てらす財団設立祝賀会に出席



「たかまつ讃岐てらす財団」設立記念パーティーを開催し、大勢のそして多彩な方々と一緒にお祝いました。来賓として池田香川県知事、大西高松市長もお祝いに駆けつけて頂き、香川県で初めて、四国で2番目に誕生した「コミュニティ財団」に期待と応援のエールを贈って頂きました。

11月25日 せとうちばなし「香川の文化芸術の土壌」に参加



瀬戸内海や瀬戸内国際芸術祭にまつわる話題について様々な切り口のテーマで届ける「せとうちばなし」の2回目の講演に参加。夕日が沈んだ高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」で、館長の中條亜希子さんから「香川県の文化芸術の土壌について」学びました。

会計報告(政務活動費) 2023年4月～12月

経費の区分	金額
1 調査研究費	50,902
2 研修費	145,260
3 広報費	271,587
4 広聴費	0
5 要請・陳情活動	0
6 会議費	27,700
7 資料作成費	58,092
8 資料購入費	3,410
9 人件費	0
10 事務所費	0
合計	556,951円

市民相談件数 2023年7月～12月 74件【累計 2,247件】

ご相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

主な活動実績 2023年7月～12月

- 7月10日 第4回高松市議会定例会 閉会
- 31日 会派視察 富山市「コンパクトシティ」
- 8月1日 会派視察 富山市「富山型デイサービス」
飛騨市「地域通貨」
- 2日 会派視察 大東市「家庭教育支援」
- 14日 高松まつり総踊り
- 20日 森田桂治・地域環境美化功績者表彰会参加
- 26日 公明党香川県本部・団体要望懇談会 出席
- 9月4日～ 第5回高松市議会定例会 出席
- 17日 かがわ高次脳機能障害友の会ほちほち 参加
- 21日 めくめく大人のおしゃべり会 参加
- 23日 (財)たかまつ讃岐てらす財団設立祝 参加
- 29日 高松一校生との意見交換会出席(再10/30)
- 10月4日 決算委員会(再17日) 出席
- 7日 あゆみ園地域ふれあいの日 参加
- 12日13日 沖縄市「女性のIT人材育成事業」 視察
- 14日 高松市立病院学会プログラム 参加
- 18日 (特)子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ、
市長とのまちかどトーク 同席
高松市戦争犠牲者追悼式 参列
- 28日 ひかりエコ・エンジニアリング会交流会 参加
たかまつ政策アイデアコンテスト 参加
- 11月2日 中核市サミットin宇都宮 参加
- 3日 東京都北区浮間ティーンズセンター 視察
- 9日10日 教育民生常任委員会視察(京都・枚方)
- 22日 市長への緊急要望 提出
- 24日 全国清掃事業者連合会香川地区研修会 参加
- 25日 こえび隊「せとうちばなし」 参加
- 12月4日 令和6年度予算要望 提出
- 4～20日 第6回高松市議会定例会
- 17日 オリーブ親の会大人の集い 参加

春風通信 Vol.21



高松市議会議員
春田 敬司
はるた けいし



オフィシャルサイト
<https://www.haruta.jp>
E-mail: info@haruta.jp



公式Line登録は
こちら▶



春風通信 はるかぜつうしん Vol.21
発行者:高松市議会議員 春田敬司 発行日:2024年1月
連絡先:高松市香西東町14番地8 電話:087-881-6411

お寄せいただいた声にお応えし、これまでに10年近く訴え続けてきたことを実現するために、そして今、目の前の行政課題を解決するために、新たな提案を行いました。



12月11日の一般質問に登壇

一般質問の項目

- 1.市役所の総合窓口化・ワンストップ窓口化の考えについて
- 2.本市委託事業・補助事業における賃上げの推進について
- 3.防災・減災について
 - (1)河川氾濫など、大規模な災害が予見された場合の対応を明確にする
 - (2)「たかまつマイセーフティマップ」の更なる充実
- 4.防犯灯管理の今後の取組み
- 5.終活支援事業の拡充について
- 6.子ども用品のリユースを推進する考えについて

*詳しい内容はインターネット（議会中継）でご覧になれます。



Q4.防犯灯管理の今後の取組み

「自治会に加入していない所には防犯灯が設置できない」との声がきっかけで、平成27年6月議会に、防犯灯の設置管理を地域コミュニティ協議会へ移行するよう求めました。令和元年にも防犯上必要な箇所への設置が可能となるよう具体的な事例を示し求めましたが、8年を経ても未だ解決していません。

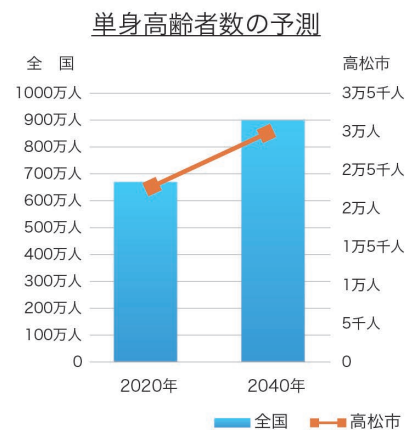
A 自治会未加入地域等への設置ができない不公平な状態や、今後LED機器の一斉更新のために自治会へも多額の負担が見込まれていることから、今、各地域を訪問し防犯灯の所有と管理についての意見交換を実施している。必要な場所への設置や持続可能な管理のあり方を示したい。



Q5.終活支援事業の拡充について

近年、単身独居の高齢者が増加しており、亡くなった際に無縁仏になってしまうケースも増えている。先進地の横須賀市や豊島区の事例（エンディング・サポート事業・終活情報登録伝達事業）を紹介し、家族の有無にかかわらず、誰もが安心して生きていき、亡くなった後も尊厳が守られる仕組みが必要なことから終活支援事業を拡充するよう求めた。

A 「人生会議」（終活）の意義や必要性について理解を深めていただくための取組を行う他、市社協の「見守りあんしんサポート事業」等を紹介している。今後も更に、終活に関する情報の周知・啓発に積極的に取り組みたい。



超高齢社会が進む中で、単身高齢者も増加

家族の形が変容する中、家族に代わって高齢者の人生の終盤を支えるサービスへの需要が高まっています。“おひとりさま”とも呼ばれる単身高齢者は、全国でこの20年で倍増して2020年には約670万人となり、2040年には約900万人に達する見込みです。本市でも2020年に22,457世帯と総世帯数の12.0%であり、2040年には全国と同様に大幅に増加が見込まれています。引き取り手のない無縁遺骨も増加しており、実際に高松市でも単身独居高齢者や生活保護受給者の葬儀のない火葬件数が、令和2年が91件、3年が107件、4年が160件と増加しており、何らかの対応が求められています。



あなたとあなたの大切な人が安心してその時を迎えるために、元気な今から今後のことを話し合ってみませんか？

高松市の人生会議（終活支援）の取組み

「最後まで自分らしく」生きるために、いつか来る「その時」のために、自分自身が望む医療やケア、これからの生き方について等、前もって考え、信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを、「人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。

春田は平成30年6月議会でこの人生会議（ACP）の重要性を訴え取組を行うよう求めました。その後、高松市では介護・医療連携事業として

- ①パンフレットやワークシートを作成
 - ②出前講座の開催
 - ③紹介動画を作成しホームページで紹介
- するなど、積極的に取り組んでいますが、単身高齢者の増加も見据え、更なる終活支援事業の拡充が必要と訴えました。



高松市の医療・介護連携はこちら

終活で紹介される「成年後見制度」と「死後事務委任契約」

成年後見制度は認知症・高齢などによって判断能力が衰えた場合に、本人保護のためにいわゆる保護者のような人をつける制度です。一方で死後事務委任契約は、死後に発生する事務処理を委託するもので、本人が亡くなった後に効力を発揮します。成年後見は生前の取り扱おうの対して、死後事務委任契約は死後の取り扱おうのものであるため、どちらか一方というのではなく、両方上手く使うことで生前から死後の家族の負担を減らすことができます。

高松市社会福祉協議会では、70歳以上で頼れる親族がいない方を対象とした「見守りあんしんサポート事業」を開始しています。「死後事務委任契約」を結び、毎月の見守り訪問を行うことで心身の状態を把握し、介護保険や成年後見制度の利用が必要な場合は支援につなぎます。また、入退院や入退所時の支援なども行います。

お問い合わせ 権利擁護センター 087-811-5250

その他にもインターネットで「高松市_終活」で検索すると他の事業者のサービスも見ることができます。



見守りあんしんサポート